

フランスと日本の交通ルールの違い

オリンピック・パラリンピックで盛り上がっているフランス。なかなか気軽に行くというわけにはいきませんが、パリの街中の映像とか見ると憧れますね。



各国で独自の交通ルールがありますよね。知らずに車を運転すると大変なことになることも。では、フランスでは、運転するときには、どんなことに気を付けなければいけないのでしょうか。



まず日本と大きく違うのが、車は右側通行です。ハンドルも左ハンドル仕様になっています。走行車線は右側、追い越し車線は左側です。まっすぐに走行している時はいいですが、右左折するときや駐車場から出るときなどは注意してください。

『ロンポワン』ってわかりますか？お菓子にありそうな名前ですが、『ロンポワン』は、円形交差点のことです。日本では、『ラウンドアバウト』といい、どちらも信号のない円形交差点です。日本では、まだ数が少なく馴染みが薄いと思いますが、フランスの映像でよく見るのが凱旋門のロンポワンですね。凱旋門の周りを車が一方通行で走行していますね。ロンポワンの中を走っている車が優先、進入する車は左からの走行車があれば、待ちましょう。中に入れば、内側に進路変更し、出たい出口手前で外側に進路変更し出口へ。信号がないので交通が止まることがなくスムーズに走行できます。慣れていないと出口に迷うことや車線変更に戸惑うこともあるかもしれませんが、何度もぐるぐる回って行き先を確認するのも一つの方法です。



フランスでは、信号も標識もない交差点では右側から優先的に通過します。自分が大きな通りを走行していても、右側の小道からいきなり猛スピードで車が割り込んでくることも！



踏切は、日本と違って一時停止はしません。日本のように一時停止をしたなら追突される危険があります。

国が違えばルールも違う。外国に行くときには、その国のルールも勉強してから行ってくださいね。

